

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月20日更新

事務事業名		総合センター維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局
	施策	21 生涯学習の推進				所属課	生涯学習課
	施策の柱	69 生涯学習施設(環境)の整備				所属班	生涯学習班
予算科目		会計一般	款10	項5	目2	事業連番10837	根拠法令
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 9 年度) ☐ 期間限定複数年度
						成果優先度評価結果	⑫
						コスト削減優先度評価結果	①

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	総合センター「ヴィーブル」の維持管理事業。平成7年11月に総合センターが開館し、旧合志町における生涯学習施設の一大拠点となり、施設の維持管理が必要になった。生涯学習、生涯スポーツの一大拠点として、多くの市民に利用され、あるいは全国大会規模の屋内スポーツや県内屈指の文化ホールを利用した催し物など、スポーツや文化芸術面での振興に果たした役割は大きい。建築後20年を経過しており、設備の一部を経年更新する必要がでており、計画的に施設の補修・機器の更新を行う必要がある。
【業務の流れ】	総合センターの維持管理に係る各種の契約事務、各所の工事営繕、事務用機器の賃貸借、備品や消耗品、燃料の補給などを行い、市民の要望に応じた利用しやすい施設環境を整える。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費) 役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費
【意見や要望】	毎年、維持管理経費も多額であるため、施設利用が有効か、快適な施設の環境が保たれているかを問う声が時折議会から出ている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 拡張	
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
総合センター植栽管理業務、警備業務、清掃業務、空調設備等保守点検業務、各施設修繕業務等		総合センター植栽管理業務、警備業務、清掃業務、空調設備等保守点検業務、各施設修繕業務等	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 総事業費	千円	【拡充事業】文化会館維持管理事業統合による増額、および自動火災報知機更新工事、調光操作卓更新工事による増額	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
市民		→ ア: 市民	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
総合センター「ヴィーブル」の施設を快適に利用してもらう		→ ア: 施設の改修回数	回
* ③ 成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
○維持管理業務を適切に行っていくことで、施設の機能性・安全性が維持され、市民により快適に施設を利用してい たることができる。○施設の拡充等困難な状況であり、ニュースポーツなど新しい企画などでの啓発により、従来 の施設を周知することを条件として目標値を微増で設定。			72,138

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標		ア イ	千円 64,262	54,665	104,390	0	96,335	88,019	88,519	88,519	
② 対象指標		ア イ	人 58,237	59,067	59,200	0	60,100	60,900	61,500	0	
③ 成果指標		ア イ	回 25	10	23	7	23	23	23	23	
投資 入 費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	8,156	2,924	10,000	9,350	14,294	10,000	10,000	
		繰入金	千円					30,000			
		一般財源	千円	56,138	69,366	94,390	93,034	99,745	78,019	78,519	
	(A) 事業費計	千円	64,294	72,290	104,390	102,384	144,039	88,019	88,519	0	
		(A)のうち指定経費	千円	2	2	3	3	39	39	39	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	5	5	2	0	2	0	0	0
		延べ業務時間	時間	2,010	1,510	1,340	0	1,340	0	0	0
		(B)人件費計	千円	8,007	6,015	5,338	0	5,338	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	72,301	78,305	109,728	102,384	149,377	88,019	88,519	0

事務事業名	総合センター維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】 経年による施設の劣化には施設修繕費で対応し、例年通りの維持管理業務を行うことができた。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 総合センターの施設を維持していくため、例年通りの維持管理業務を継続して行っていくため。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 経年とともに施設の利便性低下を抑えるため、必要な費用を確保していくことで現状水準を維持する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の施設は他にもあるが、経年も異なり連携や共同の事業実行は困難である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 巨大な施設であり、光熱水費用の無駄を省き、施設設備の近代化改修などの努力で削減は可能である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 管理体制の人的配置は必要最小限であるため、削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 施設利用の際には、受益者負担の原則により施設使用料の負担をいただいている。また平成20年度より、「冷暖房使用料」「シャワー使用料」についてもコイントイマー制としている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 施設の機能性・安全性の維持に関しては、行政の責任において施行していく必要がある。

3 評価結果の総括（CHECK）

経年劣化による施設設備の老朽化が進むなか、定期的な保守点検や適宜修繕を行うことにより適切に施設の維持管理を行うことができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策